

行雲流水

No. 3 1 令和3年4月20日発行

「主体的な学習者（マナビアン）」の育成を目指して

校長 寒河江 正人

本校の**使命**とは、私たち教職員の**使命**とは、

「学習指導要領の全面実施」と「第6次教育振興計画（後期計画）」等の趣旨を踏まえつつ、
「本校で育てるべき人材」として、

1. 「Think global, Act local.」

地球規模で物事をとらえ、自分の地域で自分にできることを具体的に活動する、

「世の中のために主体的に貢献しようとする人材（グローバルカーリアン）」を到達目標とし、
なおかつ、

2. その過程として、**多様な集団の中で、主体的・協働的に学び、課題を解決できる人材、**
即ち、「**自ら目標や課題を設定・把握し、それらを達成・解決するための方法を選択し、**
仲間と学び合い、支え合い、主体的に学びに向かう生徒（マナビアン）」を育成します。

3. そのために「**育てたい力（3観点）**」として、

(1) 各教科等における学習の過程を通じた**知識及び技能**、

(2) 知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な**思考力・判断力・表現力**、

(3) 自らの学習状況を把握して、学習の進め方について試行錯誤する等、自らの学習を
調整しながら学ぼうとしている**主体的に学習に取り組む態度**を育てます。

4. それを下支えする欠かせぬ条件整備として、

「**生徒一人ひとりの実態（教育的ニーズ）に即した学習権**」の保障に努めます。

(1) 「**生徒理解**」に立って「**個別最適化**」した指導・支援に努めます。

その子の「**学び・育ち**」を保障するために、その子を理解するよう努めます。

その子が今よりもできることが一つ増えるよう、一歩前進できるよう、努めます。

(2) 「**人材育成のフロとしての矜持**」を胸に、職務に当たります。

自分は「できる」と自惚れず、**謙虚に自己研鑽**を重ねます。

相手を敬い、謙虚に学ぶ「教師の姿勢」を生徒に伝えます。

「もうねん おこ妄念を起さざるは、こ けい是れ敬にして、もうねん お妄念起こらざるは、これ せい是れ誠なり」

（人を敬う気持ちや持ちを忘れなければ、驕り高ぶらずに済む。

それを忘れずにいれば、習慣となり、自然と驕り高ぶる気持ちは消えていく。）

佐藤一音 「言志四録」